

福島市水道条例施行規程

(趣旨)

第1条 この規程は、福島市水道条例(昭和55年条例第35号。以下「条例」という。)の施行について、必要な事項を定めるものとする。

(給水装置の構成及び附属用具)

第2条 給水装置は、給水管及びこれに直結する分水栓、止水栓、逆止弁、水道メーター(以下「メーター」という。)、水抜栓、給水栓等の用具をもつて構成するものとする。

2 給水装置には、止水栓きよう、メーターきよう、水抜栓きようその他附属用具を備えるものとする。

(受水槽の設置)

第3条 給水装置工事申込者又は水道使用者は、次の各号の一に該当するときは、受水槽を設置しなければならない。

- (1) 一時に多量の水を必要とする場合
- (2) 配水管の水圧の変動にかかわらず、常時一定の水量を必要とする場合
- (3) 配水管の断水時においても、必要最少限度の給水を確保する必要がある場合
- (4) その他水道事業管理者(以下「管理者」という。)が必要と認めた場合

(水道水の汚染防止)

第4条 給水管には、給水装置以外の水管及びポンプその他の設備を直接連結してはならない。

(給水装置の構造及び材質)

第5条 給水装置の構造及び材質は、水道法施行令(昭和32年政令第336号)第6条に規定する基準を満たすものでなければならない。

(給水管及び給水用具の指定)

第6条 条例第10条の2第1項の規定による配水管への取付口からメーターまでの間の給水管及び給水用具は次のとおりとする。

- (1) 管類 ダクタイル鑄鉄管、硬質塩化ビニール管、耐衝撃性硬質塩化ビニール管、鋼管、ポリエチレン管及び異形管
- (2) 給水用具類 サドル付分水栓、止水栓、仕切弁、青銅弁、逆止弁、減圧弁、定流量弁及び特殊継手材

2 管理者は、前項に掲げる給水管及び給水用具であつても、地質の影響その他理由によつて、その使用が適当でないと認めたときは、その使用を制限することができる。

3 条例第10条の2第2項の規定による配水管への取付口からメーターまでの間の工事を施工する場合の工法、工期その他の工事上の条件は給水装置工事設計施行指針によるものとする。

4 前項の工事を施工する場合、配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないように適切に作業を行うことができる機能を有するものを従事させなければならない。

第7条 削除

(給水用具の操作)

第8条 条例第6条に規定する管理者の定める給水用具とは、サドル付分水栓、止水栓、仕切弁、青銅弁、逆止弁、空気弁、安全弁、電磁弁(調整用)、減圧弁、定流量弁とし、同条に規定する管理者の指定する者とは、管理者又は指定給水装置工事事業者とする。ただし、水道法(昭和32年法律第177号)第16条の2第3項で定める軽微な変更を行う場合は、この限りでない。

(給水装置工事の申込み等)

第9条 条例第7条の規定による給水装置工事の申込みは、様式第1号によるものとする。この場合において、給水装置工事申込者は、次の各号の一に該当するときは、家屋又は土地所有者又は給水装置所有者の同意を得なければならない。ただし、同意を得られないときは、様式第2号による誓約書を管理者に提出しなければならない。

- (1) 他人の家屋又は他人の所有地内に給水装置を設置しようとするとき。
- (2) 他人の給水装置から分岐しようとするとき。

(給水装置工事の取消し)

第10条 給水装置工事の申込者は、工事を取り消そうとするときは、様式第3号により管理者に届け出なければならない。

(工事費の算出)

第11条 条例第12条第1項に規定する工事費は、次の各号に掲げる費用の合計額とする。

(1) 直接工事費

- ア 材料費
- イ 労務費
- ウ 特殊工事費
- エ 道路復旧費

(2) 間接工事費

- ア 運搬費
- イ 安全費
- ウ その他管理者が必要と認めた費用

(3) 管理費

- ア 管理費

(給水の申込み)

第12条 条例第15条の規定による給水の申込みは、様式第4号によるものとする。

(代理人の届出)

第13条 条例第16条の規定による代理人の届出は、様式第5号によるものとする。

(管理人の届出)

第14条 条例第17条第1項の規定による管理人の届出は、様式第6号によるものとする。

第15条 削除

(受水槽以下の装置の設計図の提出)

第16条 受水槽以下の装置の所有者は、管理者がメーターの設置上必要があると認めて当該装置の設計図の提出を求めたときは、これを提出しなければならない。

(メーターの設置)

第17条 条例第20条第2項の規定によるメーターの位置については、管理者は、メーターの検針、取替の能率、維持管理等を考慮し、定めるものとする。

(メーターの管理)

第18条 メーターの貸与を受けた者は、メーターの設置場所に検針又は機能を妨げるような物件を置き、若しくは工作物を設けてはならない。ただし、やむを得ない理由により物件を置き、又は工作物を設けようとするときは、様式第8号により管理者に届け出なければならない。

2 前項ただし書の規定において、管理者が必要と認めたときは、メーターの設置場所を変更させることができる。この場合において、メーターの移転に要する費用は、水道使用者又は管理人若しくは給水装置の所有者(以下「水道使用者等」という。)の負担とする。

3 水道使用者等は、自己の保管にかかるメーターをき損し、又は亡失したときは、様式第9号により管理者に届け出なければならない。

(メーターの損害弁償)

第19条 管理者は、条例第21条第3項の規定によりメーターの損害額を弁償させようとするときは、残存価格を考慮し、弁償額を定めるものとする。

(水道の使用休止、廃止及び用途変更等の届出)

第20条 条例第22条第1項各号及び第2項第1号から第4号の規定による届出は、次の各号に定める様式によるものとする。

- (1) 条例第22条第1項第1号(水道の使用休止届又は廃止届) 様式第10号
- (2) 条例第22条第1項第2号(メーターの口径変更届又は用途変更届) 様式第10号の2
- (3) 条例第22条第1項第3号(私設消火せん使用届) 様式第11号
- (4) 条例第22条第2項第1号(水道使用者の氏名又は住所変更届) 様式第10号の2
- (5) 条例第22条第2項第2号(給水装置所有者変更届) 様式第12号
- (6) 条例第22条第2項第3号(消防用水使用届) 様式第13号
- (7) 条例第22条第2項第4号(管理人変更届又は管理人の住所変更届) 様式第10号の2

(私設消火栓)

第21条 私設消火栓には、市が封印する。

第22条 削除

(給水装置及び水質検査の請求)

第23条 条例第25条の規定による検査の請求をしようとする者は、様式第15号により管理者に請求しなければならない。

(公衆浴場用の料金適用)

第23条の2 条例第27条の水道料金(以下「料金」という。)にかかる別表第2の2水量料金の表中公衆浴場とは、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 福島県公衆浴場法施行条例(昭和44年福島県条例第54号)第2条第1号に該当する普通公衆浴場  
(2) その他管理者が特に認めるもの  
(過誤納による精算)

第24条 料金を徴収後その料金の算定に過誤があつたときは、翌月以降の料金において精算することができる。

(使用水量の認定)

第25条 条例第30条の規定により使用水量を認定する場合は、その月の前4月の平均使用水量又は前年同期における平均使用水量その他の事実を考慮して認定する。

(使用水量の端数計算)

第26条 隔月の定例検針日(以下「定例日」という。)に検針し、使用水量に2立方メートル未満の端数があるときは、次の定例日に繰り越して算入する。ただし、毎月の定例日に検針した使用水量に1立方メートル未満の端数があるときは、翌月に繰り越して算入する。

(料金等の納期限)

第27条 条例第34条の規定により徴収する料金の納期限は、定例日の翌月15日から翌々月5日までの間に設けるものとし、その他の納付金(条例第35条第2項本文の加入金及び条例第36条本文の手数料を除く。)の納期限は、納入通知書を発行した日の翌日から15日とする。ただし、管理者が認めたときは、この限りでない。

(共同使用の料金算定基準)

第28条 住宅(併用住宅を除く。)において、1個のメーターにより2世帯以上が使用している場合の料金の算出については、各世帯それぞれ口径13ミリメートルのメーターが設置されたものとみなし、かつ、使用水量は、各世帯それぞれ均等とみなして算出することができる。

(簡易専用水道以外の貯水槽水道の管理等)

第29条 条例第46条第2項の簡易専用水道以外の貯水槽水道の設置者は、水槽の有効容量の合計が5立方メートルを超え10立方メートル以下にあつては福島県給水施設等条例(昭和54年福島県条例第39号)により、水槽の有効容量の合計が5立方メートル以下にあつては福島県飲用井戸等衛生対策要領(平成元年9月30日元環衛第463号福島県保健環境部長通知)により、当該貯水槽水道の管理及び管理の状況に関する検査の実施に努めなければならない。

附 則

- 1 この規程は、昭和55年4月1日から施行する。
- 2 福島市水道条例施行規則(昭和36年規則第8号。以下「旧規則」という。)は、廃止する。
- 3 この規程の施行前に旧規則の規定によつてした処分、手続、届出その他の行為は、この規程中これに相当する規定があるときは、この規定によつてしたものみなす。

附 則(昭和58年水管規程第15号)

この規程は、昭和58年6月1日から施行する。

附 則(昭和61年水管規程第12号)

この規程は、公布の日から施行する。

附 則(昭和62年水管規程第6号)

この規程は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則(昭和63年水管規程第8号)

この規程は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成元年水管規程第16号)

この規程は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成元年水管規程第27号)

この規程は、平成元年7月1日から施行する。

附 則(平成3年水管規程第33号)

この規程は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成4年水管規程第23号)

この規程は、平成4年11月1日から施行する。

附 則(平成5年水管規程第16号)

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則(平成5年水管規程第20号)

この規程は、公布の日から施行し、改正後の様式第1号の規定は、平成5年4月1日から適用する。

附 則(平成7年水管規程第9号)

この規程は、公布の日から施行し、改正後の様式第6号の規定は、平成7年4月1日から適用する。

附 則(平成9年水管規程第1号)

この規程は、公布の日から施行する。

附 則(平成9年水管規程第5号)

この規程は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成10年水管規程第1号)

この規程は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成12年水管規程第22号)

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

附 則(平成14年水管規程第10号)

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成14年水管規程第24号)

この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成15年水管規程第24号)

この規程は、公布の日から施行する。

附 則(平成16年水管規程第8号)

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年水管規程第1号)

(施行期日)

- 1 この規程は、平成18年2月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規程による改正前の福島市水道条例施行規程の様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則(平成19年水管規程第7号)

この規程は、平成19年4月1日から施行し、平成19年10月分の水道料金から適用する。

附 則(平成21年水管規程第3号抄)

(施行期日)

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。  
附 則(平成29年3月3日水管規程第1号)  
この規程は、平成29年4月1日から施行する。  
附 則(令和元年10月1日水管規程第13号)  
この規程は、令和元年10月1日から施行する。  
附 則(令和2年3月24日水管規程第3号)  
この規程は、令和2年4月1日から施行する。  
附 則(令和3年3月26日水管規程第5号)  
この規程は、令和3年4月1日から施行する。  
附 則(令和6年3月29日水管規程第3号)  
この規程は、令和6年4月1日から施行する。

様式第1号(第9条関係)



給水装置工事施行承認申込書										受付番号			
福島市水道事業管理者 様										令和 年 月 日			
福島市水道条例第7条の規定により給水装置工事の申込みをします。 加入金及び手数料については、福島市水道条例第35条及び第36条規定に合意し、次のとおり申請します。 国県市道及びこれに準ずる道路に埋設される給水装置の維持管理を市に委任します。										承認印			
申込者 住所 〒 (所有者・委任者)										(※) 電話番号 ( )			
フリガナ 氏 名										(※)本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。			
申込者の誓約		この給水装置において出水不良・漏水・止水栓不明等が生じた場合は、私の責任において改善工事をします。											
委 任		申込者(所有者・委任者)は、下記指定給水装置工事事業者(受任者)に対し、給水装置工事に係る次の権限を委任します。 <input checked="" type="checkbox"/> 給水装置工事の申込等及び施行並びに水道局に納入すべき手数料、加入金に関する一切のこと。											
承諾書	この給水装置工事において申込者の使用を承諾いたします。また、所有者に変更が生じた場合、その経緯、給水装置の権利及び維持管理の範囲について新所有者に継承します。	土地・家屋・分岐 令和 年 月 日				土地・家屋・分岐 令和 年 月 日							
		住所				住所							
		氏名 (※)				氏名 (※)							
		土地・家屋・分岐 令和 年 月 日				土地・家屋・分岐 令和 年 月 日							
		住所				住所							
		氏名 (※)				氏名 (※)							
指定給水装置工事事業者 住 所 (受任者) 事業者名 代表者氏名 電話番号 指定番号: 主任技術者 分岐工事施行者 資格名( )													
給水装置設置場所		福島市 (コード: )											
工事種別		新設 改造 撤去		工事期間		承認の日から 令和 年 月まで( 日間)							
工事金額		円				(局使用欄)							
給水栓数その他		給水栓数		栓		中高層		直圧・増圧 階					
受水槽		低置		有効		m <sup>3</sup> ( )							
		高置		有効		m <sup>3</sup> ( )							
水道局が徴収する手数料及び加入金	手数料	区 分				内 訳				手 数 料 計			
		設計審査手数料								円			
		しゅん工検査手数料											
		分岐立会手数料											
	加入金	区 分				個 数				金 額		加 入 金 計	
												円	

施行承認	課長	課長補佐	係長	係員	検査日
					管工事組合受付日
工 事 しゅん工	課長	課長補佐	係長	係員	提出日
					送付日

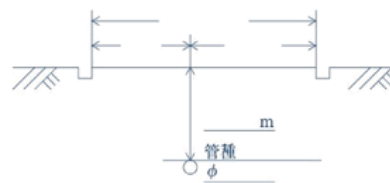
戸番図番号	
給水本管番号	

戸番図番号		凡 例		撤 去	-----
		新 設	-----	自家水	-----
		既 設	-----	境 界	-----
残塩 mg/ℓ水圧 Mpa		しゅん工図			

--	--	--	--	--	--

+

配水管位置図



給水課長	給 水 課 課長補佐	給水装置 係 長	係 員

誓 約 書

福島市水道事業管理者様

年 月 日

給水装置工事申込者

住 所

氏 名 (※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

給水装置の場所 福島市

上記の給水装置工事施工について第三者から異議があっても、市に対して御迷惑をおかけしないことを誓約いたします。

様式第3号（第10条関係）  
様式第3号（第10条関係）

課 長	課長補佐	係 長	係 員

給水装置工事施行申込み取消届

福島市水道事業管理者様

年 月 日

住 所  
申込者  
氏 名

下記のとおり給水装置工事施行申込みの取消をしたいのでお届けします。

申込受付年月日及び番号	年 月 日 第 号
工 事 の 種 別	新 設 ・ 改 造 ・ 撤 去
工 事 場 所	福島市
指定給水装置工事事業者	
理 由	

様式第4号（第12条関係）

様式第4号(第12条関係)

課長	課長補佐	係長	処 理	メーター内容照合	・	・	・	
				使用者異動処理	・	・	・	
					・	・	・	

水 道 使 用 申 込 書

福島市水道事業管理者年 月 日

給水装置場所	〒 ー		使用年月日		年 月 日	
	フリガナ					
福島市		(字)		番 号		
アパート名 マンション名 方 書			号棟		号	
お客様のお名前	フリガナ		電 話	( ー )		
				ー		
水道料金等の 納入通知書を 上記以外の住所 へ送付する場合 にご記入下さい	〒 ー					
	フリガナ			地 区 コード	大分類	小分類
	住 所					
	フリガナ			電 話	( ー )	
給水装置所有者	フリガナ				地 区 コード	大分類
	住 所					小分類
	フリガナ			電 話	( ー )	
	お 名 前				ー	
指定給水装置工事事業者		(担当者)				
業 態 コー ド	大分類		小分類		用 途	電 話 ( ー )
目 標 略 図						
<div><div>受水槽 有・無</div><div>家 屋</div><div>Ⓜ印・……メーター    △印・……玄関</div></div>						
水道局記入欄	お客様番号				水栓番号	ー
	地区コード	大分類		小分類	指 針	使用水量
	メーター	口 径	番 号	種 別	検満年月	取付年月日
	φ			・	・	取付指針
記事						

様式第5号(第13条関係)

課 長	課長補佐	係 長	係 員	受 付 番 号

給水装置代理人(指定・変更)届

年 月 日

福島市水道事業管理者 様

給水装置所有者

住 所

フリガナ

氏 名

電 話 ( )

給水装置の代理人を指定(変更)したのでお届けします。

給 水 装 置 の 設 置 場 所	福島市
給 水 装 置 の 種 別	専用給水装置 ・ 私設消火栓
給 水 装 置 の 新 代 理 人 旧 代 理 人	福島市 フリガナ 氏 名  電 話 ( )
指定変更年月日	年 月 日



[illegible][illegible]


様式第7号 削除  
様式第8号(第18条関係)  
様式第8号(第18条関係)

給水課長	給 水 課 課長補佐	給水検査 係 長	係 員

工 作 物 等 の 設 置 届

福島市水道事業管理者 様

年 月 日

給水装置使用者(給水装置所有者)

住 所

氏 名

私が貸与を受け管理している水道メーターの設置場所に下記の理由により(物件を置き)(工作物を設け)たいのでお届けいたします。

なお、メーターの移転に要する費用は私が負担いたします。

記

給水装置 場 所	福島市
(理由)	

(註) 本文の( )書に該当しない箇所を抹消して下さい。

様式第9号(第18条関係)

課 長	課 長 補 佐	係 長	係 員

メーター亡失(き損)届

福島市水道事業管理者 様

年 月 日

給水装置使用者(給水装置所有者、給水装置管理人)

住 所

氏 名

下記の事由により保管中のメーターを亡失(き損)しましたのでお届けいたします。

記

給水装置の場所	福島市
給水装置の種別	専用給水装置 ・ 私設消火栓
使用者の氏名	
(理 由)	
※ メーターの種別(     )口径     番号	
有効年限     年     月     取付     年     月     日	

様式第10号(第20条関係)

課長	課長補佐	係長			

水道使用異動

休止  
廃止

届

福島市水道事業管理者

届出年月日年 月 日

届け出したいものに○印をつけてください。

1 使用休止	2 使用廃止	共同住宅			
お客様番号					
給水装置場所	住所	福島市			
	アパート名 マンション名 方書				
フリガナ					
お客様のお名前		電話	— —		
水道使用をやめたい日	年 月 日	水道料金 精算方法			
フリガナ			住所コード	—	
転居先の住所			送付先入力	済	未
転居先の 給水申込 の有無	有 無	年 月 日	アパート名 マンション名 方書		
	お客様の お名前		電話	— —	
口座継続 の有無	有 無	使用休止申込者名	1 本人 2 代理人	電話	— —

受付者	. .	印
休止処理	. .	印
精算者	. .	印
データ処理	. .	印

様式第10号の2(第20条関係)

様式第10号の2(第20条関係)

課 長	課長補佐	係				長			

水 道 使 用 異 動 届  
福島市水道事業管理者  
届け出したいものに○印をつけてください。

1 使用申込	3 管理人変更	5 口径変更	7 再開栓
2 名義変更	4 用途変更	6 送付先変更	8 その他

受 付 者	・ ・	印
異 動 処 理	・ ・	印
共 同 住 宅 カ ー ド 処 理	・ ・	印

届出年月日 年 月 日

お 客 様 番 号

※1 ご使用開始日 年 月 日		※1 開始日は使用申込の場合記入してください。		共同住宅		
①給水装置場所	住 所	福島市				
	アパート名 マンション名 方 書				電 話	— —
	フリガナ お 客 様 の お 名 前					
※2 ②料金請求先	住 所					
	アパート名 マンション名 方 書				電 話	— —
	フリガナ お 客 様 の お 名 前					

※2 ①と②が異なる場合は、②にも記入してください。

申 込 者 名	1 本 人					
	2 代理人					
口 座 継 続	電	— —				
	有	前				
名 義 変 更 又は管理人変更	いままでの お 名 前					
	理 由					
記 事	所有者又は 管 理 会 社	電話 — —				
	前のお客様の お 名 前					

閉 栓 月 日	年 月 日		
閉 栓 区 分			
メ ー タ ー	位 置		
	内 容	新	旧
	種 別		
	口 径		
	番 号		
	指 針		
取 付 外	年 月 日		

指定給水装置 工 事 事 業 者	(担当者)					
業 態 コー ド	大分類		小分類		用 途	電話 — —
給水装置所有者	フリガナ					
	住 所					
	アパート名 マンション名 方 書				電 話	— —
	フリガナ お 名 前					

様式第11号(第20条関係)

様式第11号(第20条関係)

課  長		課 長 補 佐		係  長		係  員		処  理	調定通知	No.
									料 金	

No.

私設消火栓使用申込書

福島市水道事業管理者

年 月 日

給水装置使用者(給水装置所有者)

住 所

氏 名

下記のとおり私設消火栓の使用申込みをいたします。

記

使	目 的	消防演習のため									
	場 所	福島市									
		福島市									
		福島市									
	日 時	年 月 日午前 時 分									
用	時 間	1栓 分間									
	栓 数	栓									
メーター經由の有 無		有 無	使用前指針	m <sup>3</sup>	使用後指針	m <sup>3</sup>	差引使用水量	m <sup>3</sup>			
屋外屋内の別		屋 外 屋 内									

様式第12号(第20条関係)

様式第 12 号 (第 20 条関係)

課長	課長補佐	係長	係員	処 理	年 月 日
				給水台帳	
				水栓番号	

No. \_\_\_\_\_

給水装置所有者変更届

福島市水道事業管理者      様

年    月    日

新給水装置所有者

住 所    福島市

フリガナ  
氏 名

(※)

電 話                  (                  )

(※) 本人（代表者）が手書きしない場合は、記名押印してください。

下記のとおり給水装置の所有者が変更したのでお届けします。

記

給 水 装 置 設 置 場 所	福島市
給水装置の種別	専 用 給 水 装 置    ・    私 設 消 火 栓
給水装置旧所有者 氏 名	福島市 氏 名 (※) (※) 本人（代表者）が手書きしない場合は、記名押印してください。
変 更 年 月 日	年                  月                  日

様式第13号(第20条関係)

No. ....

消 防 用 水 使 用 届

年 月 日

福島市水道事業管理者

住 所  
氏 名

消防用として下記のとおり水道を使用したのでお届けいたします。

記

使用目的	火 災 訓 練	日 時		
		場 所		
使用した給水装置種別(消火栓)		公設消火栓 専用 私設消火栓 共用	給水装置使用した	
使用箇所	時 間		水 量	摘 要
	自 時 分	時 分 分間	m <sup>3</sup>	
	自 時 分	時 分 分間		
	自 時 分	時 分 分間		
	自 時 分	時 分 分間		
	自 時 分	時 分 分間		
	自 時 分	時 分 分間		
	自 時 分	時 分 分間		
計	時間 分		m <sup>3</sup>	

様式第14号 削除  
様式第15号(第23条関係)  
様式第15号(第23条関係)

課 長	課長補佐	係 長	係 員

給 水 装 置 検 査 請 求 書

福島市水道事業管理者 殿

年 月 日

住所 福島市 町(字) 番 号

請求者 氏名

給水装置の場所 福島市 町(字) 番 号

次の理由により給水装置の水質の検査を請求いたします。

理由(なるべく詳細に記入して下さい。)

(注) 給水装置  
水 質 } について該当の個所を○で囲んで下さい。